

- 日時 2011年10月26日(水) 16:30~18:00
- 場所 名古屋キャンパス R棟4階 R43教室
- テーマ 「人類学研究所、再起動！」

「南山大学の〇〇です」と自己紹介すると、「人類学で有名ですよ」と答えが返ってくる。そんなやりとりを経験したことはありませんか？

「人類学の南山」、その拠点となる人類学研究所は、本年発足62年を迎え、新たな学術専門誌「年報人類学研究」を創刊。新たな活動体制を整えて、生まれ変わろうとしています。でも、普通に過ごしていると、研究所が何をやっているかはあまり耳に届かないですよ？ 所属大学の中での新たな知的展開を前にそれを知らずにいるなんて、知的好奇心に動かされる研究者であればきっと耐え難いことでしょう。そこで、その産声を聞かせていただく、人類学研究所所長の後藤先生にご登壇いただきます。

人の営みをより深く知ろうという知的探究は、3.11を経験した21世紀日本において、どのような道を進むことになるのか。そうした大きな枠組みを見据えつつ、これからの人類学について学び語り合う機会にしたいと思います。

是非ご参加下さい！

- 報告者 後藤 明 氏 (人類学研究所・所長／人文学部教授)
- 演題 「チャレンジに立ち向かう人類学であるために」

\*\*\*\*\*

教育・研究支援事務室  
加藤 京子 kyoko kato  
TEL:052-832-3686(内線1184)  
kyokato@ic.nanzan-u.ac.jp